

つばめだより

<https://www.seishinchiku-catholic.com/>305号 2026年
8月〒424-0931 静岡市清水区岡町 1-3 4
TEL 054-368-5295 FAX 054-368-5292

「主はすべて虐げられている人のために

恵みの御業と裁きを行われる。」

(詩編 103:6)

「目からうろこ」

静岡雙葉中学校・高等学校 教諭 松岡葉子

先日、オープンキャンパスで宗教の体験授業を行うので、その準備のために朝三時頃に聖書を開いていた。テーマは「聖書に触れてみよう」。日本語で聞きなじみのある言葉が、実は聖書から来ている、というところを切り口に、聖書に親しみを持ってもらおうという内容だ。思い付きは良かったものの（自画自賛）、それを一回きりの50分の授業、しかも小学生も交えた体験授業に仕立てるのは、普段の授業準備以上に大変である。

おまけに、昨今のカルト宗教のニュースなどで、「宗教」に対する警戒感強い。宗教の授業が毎回オープンキャンパスの体験授業として設定されているのは、そうした警戒感を払しょくするためでもあるし、本校がキリスト教精神を根幹にしている学校であることを示すためでもある。つまり、宗教の授業は、本校の「顔」。そう考えると、体験する小学生に同伴して来校する保護者の顔までちらついて、適当な授業はできないという思いが強くなり、ますます気が重くなる。

今回は「目からうろこ」をテーマにしていた。きっかけは、去年のトルコ巡礼。パウロの足跡をたどる旅の中で、パウロが身近になっていたからだ。それに、「目からうろこ」という言葉は日本語に馴染んでいる言葉だから意外性が高い。「えっ！？聖書の言葉なの！？」と驚く顔が容易に目に浮かぶ。つかみはOKだ！そんな魂胆があった。

そんなこんなで授業の内容を組み立てていく中で、どう落としどころをつけるかで行き詰まった。どうまとめようか。思案に暮れていたら朝の三時になっていた。思い余って生成AIに聞いてみたら、「目からうろこ」の体験を募って劇を作ることを提案された。さらに難易度が上がる。AIは使えない。さすがに偉大なパウロを題材に授業をするのは、私の力量では無理だったか…力尽きようとしたまさにその時、トルコ巡礼の時に聖書の先生から言われた言葉が頭をよぎった。「聖書を読みなさい」

そうだ、あれやこれやとよこしまな考えにとらわれるのではなく、まず聖書だ！自分で「聖書に触れてみよう」と言いながら、聖書と向き合っていないじゃないか！おそろおそろ使徒言行録9章を開く。18節「すると、たちまち目からうろこのようなものが落ち、サウロは元どおり見えるようになった。」この「目からうろこ」という言葉の意味を、新明解国語辞典では「何かがきっかけになって、今までよく分からなかったことが突然はつきり分かるようになる。」と説明している。では、パウロは何がきっかけに回心したのか。それはイエスとの出会いがきっかけなのは間違いない。では、何がきっかけでパウロの「目からうろこ」が落ちたのか。さかのぼって読んでみても、目が見えなくなったあとのパウロは何もアクションを起こしていない。回心したから目が見えるようになったわけではない。どうして？と考える中で目に留まったのが、主の言葉だった。「わたしが選んだ器である」（使9:16）まさに私にとっても「目からうろこ」の体験だった。自己流に解釈すれば、主がそのように望んだから、パウロの目は見えるようになったのだ。ああ、ここだ、と思った。心の中で、聖書にむかってひれ伏した。

朝の三時。目が覚めるような思いだった。「目が見えるようになったのは、パウロの信仰ゆえ」という分かりやすい因果応報的な考えに安直に落ち着こうとしていた浅はかな自分に気が付くのと同時に、神のはからいは人の思いを超えたところにある、ということをまざまざと思い知らされた気分だった。これを読んでる諸兄諸姉にとっては当たり前のことかもしれないが、私にとっては心が打ち震える思いだった。思わずLINEで巡礼仲間に連絡し、「聞いてください！私は神のみ言葉をほんのちょっぴり理解できたかもしれません！一緒に喜んでください！」と言い広めたくなるほど、胸が高鳴った（実際には連絡していません）。

その感動を胸に体験授業を行った。「きっかけを与えてくださるのは神様」という最後の落としどころを、授業の参加者がどこまで納得できたかわからない。そんな授業では志望者は増えないかもしれない。でも、聖書と向き合う喜びと楽しさを味わえたあの朝は、私の中ではとても大事な時間になった（結局は自己満足か？）。これからも師の教えに従い、聖書の言葉、そのものを味わうことを大切にしていこうと思う。

2026年 今後の予定と奉仕者表

月日	曜日	時間	典礼・祭日・祝日等	時間	集い・各部活動及び内容
8月					
2	日	11:00 14:30	年間第18主日 ミサ ポルトガル語ミサ	12:15	教会学校中高生部 教会委員会(休会)
6	木	10:00	平日のミサ(主の変容 祝日)		
6～15	木～土		日本カトリック平和旬間		
7	金	10:00	初金のミサ(草薙教会)		
8	土			10:00	静清地区「神の愛を証しする力を育てる部門」(静岡教会)
9	日	11:00	年間第19主日 ミサ	11:30	静清地区キリスト教講座「共に歩むための集い」(静岡教会)
11～12	祭+水				静清地区教会学校夏のイベント(静岡聖光学院)
13	木	10:00	平日のミサ	ミサ後	入門講座
15	土	10:00	聖母マリアの被昇天 祭日 ミサ	14:00	清水教会祝日ミニパーティー フィリピン共同体 オフィサーズ・ミーティング
16	日	11:00	年間第20主日 ミサ		
20	木	10:00	平日のミサ		
21	金			9:30	つばめ編集会議
22	土			16:00 18:00	入門講座 ブラジル共同体 ロザリオの祈りの集いとカテケージス
23	日	11:00	年間第21主日 ミサ	11:30	静清地区キリスト教講座「共に歩むための集い」(静岡教会)
27	木		平日のミサは蒲原聖母幼稚園始業式のため中止		
29	土			10:30	地区祈る力を育てる部門講演会「家族で共に祈るー福音に生きる・福音宣教とはー」 (清水教会)～14:30
30	日	11:00	年間第22主日 ミサ		
9月					
3	木	10:00	平日のミサ		
4	金	10:00	初金のミサ(草薙教会)		
5	土			13:30 15:30	静清地区聖書研究会(静岡教会) 指導:古川神父様 ～15:00 静清地区ホームページ担当者会議(草薙教会)
6	日	11:00 14:30	年間第23主日 ミサ 被造物を大切に世界祈願日 ポルトガル語ミサ	12:10 13:30	※すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り 教会学校中高生部 教会委員会

奉仕者表

日	曜日		第1朗読	第2朗読	先唱者	侍者		祝祭日	司式司祭
8/2	日	第1週	ベトナムの方	宮本	山下ゆ	古牧			濱田
9	日	第2週	瀧	フィリピンの方	村岡明	松浦	大城		濱田
15	日		田代	フィリピンの方	村岡明	松浦		午前10:00～ 聖母の被昇天	濱田
16	日	第3週	ポルトガル語又はスペイン語	西村	五十嵐	松浦	古牧		濱田
23	日	第4週	齊藤	フィリピンの方	磯部	松浦	大城		濱田
30	日	第5週	山本	フィリピンの方	山下ゆ	松浦	古牧		古川

お掃除について

施設清掃は現在お掃除ロボットが稼働しているため、ミサ前または後に有志の方で内陣のポップ掛けと椅子の乾拭き、トイレ掃除をお願いします。トイレ清掃後はトイレ内の表に氏名を記入してください。

- ・毎週木曜日の午前10:00～清水教会聖堂でミサを行っています。
8月は6日、13日、20日の各木曜日です。朗読奉仕は当日ミサに出られた方の中からお願いします。27日は神父様のご都合によりお休みです。
- ・8月6日（木）は「主の変容」の祝日です。主イエスは弟子たちの見ている前でまばゆいばかりの姿に変わられ、父である神から誉れと栄光を受けられました。
- ・8月7日（金）は午前10:00～草薙教会聖堂で初金のミサがあります。
- ・8月15日（土）は「聖母マリアの被昇天」の祭日です。当日は午前10:00～清水教会でミサ（ミサ後、ミニパーティー）があります。
- ・神の母おとめマリアは、死後の滅びにゆだねられることなく、からだも魂も、ともに天の栄光に上げられました。ブローニュの聖母に捧げられたわたしたち清水教会は、聖母マリアの被昇天の祭日を大切にお祝いしています。



「人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があるのか。自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか。人の子は、父の栄光に輝いて天使たちと共に来るが、そのとき、それぞれの行いに応じて報いるのである。はっきり言うておく。ここに一緒にいる人々の中には、人の子がその国と共に来るのを見るまでは、決して死なない者がいる。」

（マタイ 16・26～28）

教会委員会報告

7月5日（日）12:45～14:25 於：清水教会

（出席者）濱田壮久神父 代表委員：村岡 明代、磯部 晃子 財務担当：谷田 千恵子 財務補佐：齊藤 倫子 典礼委員：松浦 史明
教会学校：山本 博美 「祈る力を育てる部門」瀧 規子「信仰を伝える部門」山下 ゆふ コミュニタス：土橋 レイ
静清地区共同宣教司牧担当：齊藤 倫子 フィリピンコミュニティ：土橋 レイ 古牧 ルビー スペイン語コミュニティ：太田 ジュディ

1. 財務より

- ・6月月定・ミサ献金、一般・司祭寄付金 490,858円 建設献金 352,620円（建設献金＝特別事業献金）
集計は建設委員会の解散により、教会委員会の財務チーム4名（齊藤・谷田・瀧・山本）で担当。

2. 典礼委員会より

＊6/28（日）ミサ後典礼委員会開催

- ・聖堂内の十字架の位置について、高さを少し上げて中心（ステンドグラスの前）に置く。
- ・ミサ朗読は8月から第1日曜の第1朗読をベトナム語、第3日曜の第1朗読をポルトガル語またはスペイン語で行う。7/19（日）第2朗読はベトナム語で実施する。
- ・外の掲示板にA3用紙で詩篇等印刷し掲示内容を充実したい。→広報担当に一任。



3. 教会学校

- ・6/7（日）中高生部は富士教会で開催されたフェスタ・ジュニーナ参加のため休会。
- ・6/7（日）15:00～ 静清地区教会学校連合リーダー会。於：清水教会 次回7/5（日）清水教会。
- ・6/21（日）12:15～ 教会学校7名参加 初聖体クラス1回目 小川 さちさん。
- ・7/19（日）12:15～ 教会学校&初聖体クラス2回目。
- ・夏のイベント参加者に関しては、決定次第報告。宿泊参加希望または通いで参加希望もあり。

4. 「祈る力を育てる」部門

- ・6/26（金）清水教会に於いてレクチオ・ディビナ「つちや会」参加者12名。次回7/24（金）13:30～
- ・地区部門会議 6/28（日）15:00～ 於：清水教会 講演会の準備。役割分担等について検討。
聖公会の植松誠主教様講演会（8/29）申込は8/16（日）瀧まで。於：清水教会。
- ・7/4（土）2026年度第1回「聖書の言葉で祈る」黙想会 千代田教会にて参加者 清水2名/14名。
- ・今年はアッシジの聖フランシスコ没後800年記念で“平和を求める祈り”をミサ開始5分前に祈る。

5. 「信仰を伝える」部門

- ・キリスト教入門講座「共に歩むための集い」を第2・第4日曜日11:30から開催、継続中。

6. 「神の愛を証しする」部門

- ・6/20(土) 16:00～ 静清地区「神の愛を証しする」部門会議は村岡さんが代理で出席。
10/3(土)講演会 講師に静岡大学教授・笹沼弘志先生、内容はラウダート・シに沿った憲法のお話で決定。今後、ポスターやチラシ配布について検討していく。
- ・7/12(日)は「船員の日」にあたるので“ステラマリスの祈り”を共同祈願で祈る。英語版も準備。

7. 静清地区共同宣教司牧委員会 5/24(日)14:30～ 於：清水教会 報告あり。

8. 一粒会：11/3(火・祝)横浜教区一粒会大会参加希望者は静清地区でフィー神父様含め19名。

9. コムニタス

- ・6/20(土) 14:00～静岡教会にて講師：笹沼弘志（静岡大学教授、路上生活者支援）講演会実施
参加者は30名余、清水から5名参加。第1部聖堂、第2部は信徒会館茶話会形式で質疑応答。
- ・静清地区の清水教会代表をつとめてくださった石月さんから退任の申し出あり。
後任に土橋レイさん。土橋さんから地区コムニタス代表の千原さんに石月さん退任の件を伝達する。

10. フィリピンコミュニティ

- ・フィリピンの担当する侍者の日程について第1、第3日曜に古牧さん+1～2名が奉仕する。
- ・7/12(日)洗礼セミナー開催、同日、清水さん家族(大阪へ転出)の送別会を予定。

11. ブラジルコミュニティ

- ・6/20(土)、7/18(土)両日とも18:00から清水教会でロザリオの祈りとカテケシスを実施。

12. 神父様のお話

- ・6/9(火)聖公会の静岡聖ペテロ教会を会場として静岡市キリスト教連絡会が開催されました。
静岡市内の葵区、駿河区、清水区の超教派の教職が定期的にともに集い、交流しながら祈っています。
今後も実り豊かな会合となるようお祈りください。
- ・八幡聖母幼稚園の建て替えにあたり、耐震性に問題があった八幡教会の司祭館・信徒会館の解体工事が6/20(土)から開始されます。事故無く無事に終わるようどうぞお祈りください。
- ・8/27(木)は9:30から蒲原聖母幼稚園の始業式があるため10:00ミサはお休みとなります。
- ・待降節、四旬節の黙想会について。指導司祭の候補を挙げ、濱田神父様から打診。
- ・教会施設管理部門を新たに発足したい。年末までにゆっくり候補者人選していく。
仕事内容：①施設台帳管理 ②電球交換や日々のメンテナンス ③外部メンテナンス
- ・9/20(日)高齢者への祝福と教会学校2学期開始の祝福をミサ中に行う。

※8月委員会は休会とし、次回：2026年9月6日(日)13:30～

ファウスティナ 磯部 晃子



お知らせ

8/15(土)は「聖母マリアの被昇天」の祭日です。当日は午前10時からの御ミサ終了後に、ささやかなミニパーティーを開催いたします。お茶やお菓子を囲みながら、皆様で楽しいひとときを過ごしましょう。どうぞお気軽にご参加ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。